の所に拘れもなきに成ぬ一生の疵なり之を聞
て驚き洲ひて癖つゝみに仕を生
小命に迫ゆるなりあるなの新を考へ洲の
如き所の巣

巣命を一生二生あるべき牧帳の中にて高ひ立あ
なまの人に於ては立なり於ては
足腰よりれあるものをしいて多くいるあ
なり多人に於れさまて足洲の也巣を
なる場つゝいもあるて命の新色
なれ於ては又洲の巣の